【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公表番号】特表2018-502110(P2018-502110A)
【公表日】平成30年1月25日(2018.1.25)
【年通号数】公開・登録公報2018-003
【出願番号】特願2017-534789(P2017-534789)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/20　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/20
Ａ６１Ｐ　11/00

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月20日(2018.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
気管支肺異形成症（ＢＰＤ）を有するか、またはＢＰＤを発症する危険性のある乳児における１つ以上の臨床転帰の改善するためのヒト乳組成物であって、前記ヒト乳組成物が、低温殺菌ヒト乳クリーム組成物で強化されており、前記低温殺菌ヒト乳クリーム組成物が、約２．０ｋｃａｌ／ｍＬ～約３．０ｋｃａｌ／ｍＬを含む、ヒト乳組成物。
【請求項２】
前記低温殺菌ヒト乳クリーム組成物が、約２５％の脂肪および約２．５ｋｃａｌ／ｍＬを含む、請求項１に記載のヒト乳組成物。
【請求項３】
前記低温殺菌ヒト乳クリーム組成物で強化したヒト乳組成物が、経腸的に投与される、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記改善された臨床転帰が、病院でのより短い入院期間および／または退院時におけるより早い月経後年齢である、請求項１に記載のヒト乳組成物。
【請求項５】
低出生体重児における１つ以上の臨床転帰の改善するための標準化高脂肪ヒト乳組成物であって、前記標準化高脂肪ヒト乳組成物が、約１．５ｇ／１００ｋｃａｌ～約３．０ｇ／１００ｋｃａｌのタンパク質対エネルギー比を含む、標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項６】
前記標準化高脂肪ヒト乳組成物が、約１．８ｇ／１００ｋｃａｌ～約２．８ｇ／１００ｋｃａｌのタンパク質対エネルギー比を含む、請求項５に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項７】
前記標準化高脂肪ヒト乳組成物が、経腸的に投与される、請求項５に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項８】
前記改善された臨床転帰が、病院でのより短い入院期間および／または退院時における

より早い月経後年齢である、請求項５に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項９】
約１．５ｇ／１００ｋｃａｌ～約３．０ｇ／１００ｋｃａｌのエネルギー比を含む、標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１０】
約１．８ｇ／１００ｋｃａｌのタンパク質対エネルギー比を含む、請求項９に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１１】
約３８Ｃａｌ／ｏｚ、約２３ｍｇ／ｍＬのヒト乳タンパク質及び約９７ｍｇ／ｍＬのヒト乳脂肪を含む、請求項１０に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１２】
約２．３４ｇ／１００ｋｃａｌのタンパク質対エネルギー比を含む、請求項９に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１３】
約３８Ｃａｌ／ｏｚ、約３０ｍｇ／ｍＬのヒト乳タンパク質及び約９４ｍｇ／ｍＬのヒト乳脂肪を含む、請求項１２に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１４】
約２．１６ｇ／１００ｋｃａｌのタンパク質対エネルギー比を含む、請求項９に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１５】
約３２Ｃａｌ／ｏｚ、約２３ｍｇ／ｍＬのヒト乳タンパク質及び約７４ｍｇ／ｍＬのヒト乳脂肪を含む、請求項１４に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１６】
約２．７７ｇ／１００ｋｃａｌのタンパク質対エネルギー比を含む、請求項９に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。
【請求項１７】
約３２Ｃａｌ／ｏｚ、約３０ｍｇ／ｍＬのヒト乳タンパク質及び約７１ｍｇ／ｍＬのヒト乳脂肪を含む、請求項１６に記載の標準化高脂肪ヒト乳組成物。